



私

たちの「小さな親切」運動は、国から公益社団法人の認定を受けており、私は運動本部代表をおおせつかっていることから、こと政治に関しては不偏不党・中立の立場を貫いてきた。この欄では過去2回、1回目は河野洋平・太郎親子の生体肝移植のこと、2回目は一年前の菅内閣総理大臣の誕生についてのこと。かつて衆議院議員を自民党所属として20年近くつとめ（初当選は新党・新自由クラブ）、引退直前には文部科学大臣をつとめさせていただいたものとして、この2件については政治家としてではなく、人間としての思いを書かせていただいた。そして、今年秋に誕生した岸田文雄内閣。政治論としてはなしに、私の胸にある思いを書かせていただくことにした。

ま

ず、自民党総裁選挙。候補者の一人だった河野太郎氏は、私が毎日新聞の政治記者から河野洋平氏に請われて公設秘書に就いた時、まだ中学二年の少年だった。慶應大を2年で中退、米国の大学に留学。「この子は将来、一郎、洋平氏の跡をついで政治家の道を選ぶ」と私は確信していた。早逝された洋平夫人・武子さんがある時、私に「長男・太郎は厳しく、激しい。それに比べて次男・二郎は優しく、おだやかよ」と言われたことがある。

総裁選挙に出ると聞いた私は、少しでも勝利に向けて手助けを……という気持ちはあったものの、冒頭に書いたように、いっさいの応援を自粛した。それでも決戦の数日前。さすがに洋平氏にだけは胸中の思いを伝えたいと、電話し「立場上、何ひとつご恩返しができませんこと、なにとぞお許しを」と。洋平氏は、「恒さんのこと、よくわかっているよ」と、私を「同志中の同志」とまで言ってくださっている方らしい言葉。ただ、太郎氏の勝利には少なからず確信が持てずにいることを私は感じた。

他に総裁選に名乗りをあげた3人は、私も現職議員の頃からよく知っている人たち。岸田文雄氏は同じ派閥所属の後輩で、先代の文武氏は、衆議院議員時代は同派閥の先輩。高市早苗、野田聖子両氏とも現職議員当時に付き合いはあった仲。特に野田氏とは第二次福田康夫内閣とともに閣僚をつとめた。

総

裁選の結果はご承知の通り、岸田氏が決選投票で太郎氏を破り、新内閣をスタートさせた。新首相がどのような時期に、任期満了となる衆議院を解散し、総選挙の結果がどう出るのは本稿を書いている段階（10月初旬）では、予測不可能。自公連立政権が続くのか、選挙前の野党に政権が渡るとか。本誌が出るころには結果は明白だろう。ただ、望むべくは歴史の大転換期の日本はもちろん、世界の歴史的課題、例えば世界の経済動向、地球温暖化をはじめとする国際環境問題、国際軍事・外交問題、コロナ禍・政治とカネなどなど、私たちのあとに続く世代の人々に、「いっそうの幸福を」と改めて、心の底から願いたい。

新政権に望む「よりいっそうの幸福を!!」

代表 鈴木恒夫



【表紙写真】

手書きの文字で伝わる“想い”

運動本部に届いた作文やエッセイ、お手紙の数々。手書きの文字からは、筆者の想いや人となりまで伝わってくるようです。人となかなか会えない今だからこそ、手紙や文章であなたの「想い」を伝えてみませんか。

表紙になるかも？

あなたの写真で全国に温もりを届けてみませんか

『小さな親切』誌では、下記のテーマの写真を募集。お写真は本誌やWebサイトに掲載するほか表紙に使用させていただく場合があります。採用された方には、粗品をプレゼントいたします！

- 親切的風景
- あなたの街の素敵な風景
- あなたのほっとする場所

〈申込方法〉

- お写真は紙焼きではなく、下記の方法でデータでお送りください。

【メール添付】 skm1963@kindness.jp

【DVDなどを郵送】

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
公益社団法人「小さな親切」運動本部 写真募集係

〈注意事項など〉

- 写真のサイズ：(スマホの場合) 800KB以上
(デジタルカメラの場合) 3,456 × 2,304ピクセル以上
- 人物がうつっている場合は、肖像権の侵害がないようご注意ください。
- 他のコンテストなどへの応募作品はご遠慮ください。

「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2021年11月1日発行 通巻524号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838
https://www.kindness.jp/

印刷所 広研印刷株式会社

©無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。